

TEL 06-6581-1761 FAX 0120-13-7900
〒550-0021 大阪府大阪市西区川口3丁目3番17号

http://www.ohkitaweb.co.jp/

大喜物株式会社

検索

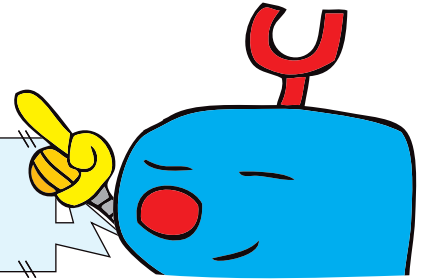
公差シリーズ No.4

在庫品の寸法公差



平行ピンに新しい材質が増えたんだね！
SUS316 ってどんな材質なの？

今までの SUS303 の平行ピンに比べて、
孔食・すき間腐食に強い材質なんだ！
今回いっしょにカタログを同封しているから参考にしてね！
詳しくは今度説明するね！

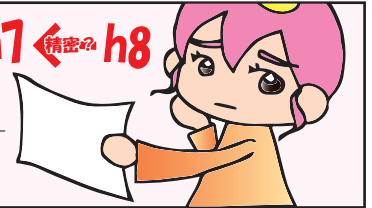


ところで前々回からの宿題はできたかな？
h8 で指示されてるところに h7 を使用して問題があるかどうかだよ？

うん！

前にもらった表から考えたんだけど
h7 も h8 も同じ h だから公差域の始まる位置は同じでしょ
そして公差等級が小さい方が精度が高いから
h8 のところを h7 で使うのは問題ないと思う！

h7 ←精密 h8



うん！正解だね！

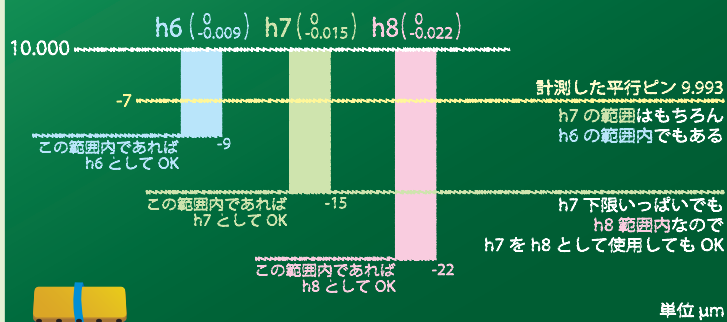
やったー！

今の答えを具体的な数字を使って
考えてみよう！実際に平行ピン h7 を
マイクロメーターで計測してみるよ！！

え〜っと...
9.993 だね！



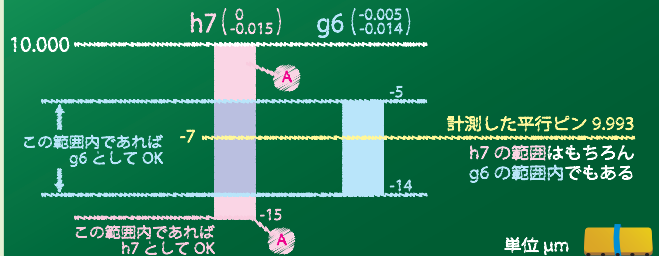
h7・h8・h9 各公差域クラス



h6 【10 ~ 9.991】 h7 【10 ~ 9.985】 h8 【10 ~ 9.978】
の3種類の公差域クラスを表にしてみたよ！基準寸法から
h6 【0 ~ -9】 h7 【0 ~ -15】 h8 【0 ~ -22】 となるね！
計測した平行ピンは 9.993 だから -7 のところに線を引いてみたよ！
h7 の下の許容寸法【-15】で仕上がっても
h8 の下の許容寸法【-22】の許容内だから使用上問題ないんだ！
今計測した平行ピンは【-7】だったから h6 の許容内にも
入っているから、この平行ピンは
h6 として使用しても問題ないんだ。



h7・g6 各公差域クラス

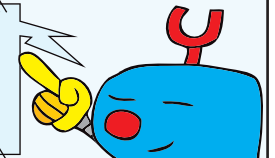


h7 【0 ~ -0.015】 g6 【-0.005 ~ -0.014】 の公差域クラスも考えてみよう！
始まりの位置も公差等級も違う公差域クラスでも同じようなことが言えるんだ。
今計測した平行ピンは -7 で仕上がっていたため【g6】でも使用できるんだ。
ただし、平行ピン h7 が
A の範囲で仕上がっていると【g6】としては使用できないよ！
こういうふうに違う公差域クラスだとしても
許容範囲が重なる場合があるため、在庫品から個別に計測して
使用できるピンを探すこともあるんだよ！

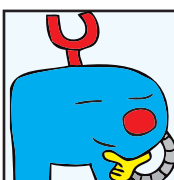


なるほど〜！
仕上がったピンの中には
より精度の高いものとしてや別の公差域クラス
として使用できるものもあるんだね〜！

ただ、たまたま別の公差域クラスに入っていただけで
いつも、今説明したようになるとは限らないからね！
例えば h6 の平行ピンがそれなりの数が必要な場合は
やっぱり最初から h6 で指示する必要があるからね！



平行ピンB種以外の公差域クラスって
どうなってるんだろう？
平行ピンA種とか…。



それじゃ次回は
主な在庫品の公差域クラス
を調べてみよう！

は〜い！
いろんな種類がありそうだね！
楽しみだ〜！

